

工事現場の様子②

現場では、昨年7月から、御楼門2階漆喰壁の下地に使用する壁土作りを行っています。壁土作りは、日置市産の土に藁を短く切った「藁スサ」を練り込む作業から始まります。近くの名山小学校6年生にも作業を体験してもらいました。

その後は、概ね1ヶ月おきに攪拌作業を行っています。時間の経過とともに藁スサが土の中で発酵することにより、壁土に必要な粘りが出ます。

この作業は、壁土として使用する直前の今年8月頃まで続けていきます。

